



鎌倉の猫事情 第五十話

COLUMN

向かうもの敵なしといったグーニーの傲慢な振る舞いは、もはや誰目にもはっきりとして、グーニーは実に評判を落としていました。グーニーに追い立てられるように姿を消した気の毒な長女すみれと長男クウは、いったいどこでどうして暮らしているのかと心を痛めていた時、アルバイトのS君が「クウちゃんはお隣にいるのかも知れませんが」と言うのです。どういふことかと聞いてみると、S君が空き瓶の整理に裏木戸のところに出ているとお隣のガラス戸の所にクウがどこからか戻って来て、ニャアと鳴くのを合図にすつとガラス戸が開き、クウが家の中へ入って行ったというのです。そう言えば昔から代々うちの猫や犬たちはお隣に世話になっているのです。お隣の人たちは動物好きで優しいのがわかるのでしょう。昔昔、先代のシュガーちゃんよりもっと前にいたガーニーという犬もお世話になったことがありました。ガーニー君はミルクホール創立当初、ここに住んでいました。その証拠にミルクホールの奥にあるBAR ROOMは、愛犬ガーニー君にちなんでGURNNY'S BARと名づけられたのです。今でもカウンターの真ん中に、在りし日のガーニー君が月に向かって吠える姿が描かれた看板が掛けてあります。ガーニー君は野良猫や迷いカラスなどを飼ってきた我が家において唯一血統正しい猟犬の血筋でした。そのの勇姿も凛々しく、看板に描かれているように黒地に茶色の斑模様で歩く姿も中々のものでしたが、脱走癖がありました。深い考えもなく突然走りだして行って迷ってしまうようでした。当時は幾度も皆で探し回ったものです。ある時など、逃げ出したのをさんざん探したのですが、ようとして見つらず、途方にくれて居たところ、ある夜、お隣のぼっちゃんがガーニーを連れてきてくれました。事情を聞くと1週間程前、皆で車で出かけようとしていた時、突然車にこの犬が乗りこんできたそうです。びっくりしたけれど、特に害もなくこの犬だろうと、思いながら世話をしていたのだそうですが、今日になってうちの犬かもしれないということが

わかり、返しにきてくれたのです。

➤ ガーニー君、お隣のぼっちゃん二人に遊んでもらって、居心地よく暮らして、すっかり帰るのを忘れてしまったのでしょうか。当時小学校と中学校に通う男の子が二人いました。今ではその時のぼっちゃん達も、もう大人になっていますが、グーニーに連日待ち伏せされて行き場をなくし、途方にくれていたクウが、なんとなくお隣の縁側に顔を出してみたら、ずいぶんと親切にしてくれたのでしょうか。お隣にはご迷惑をかけますが、クウには安心して帰る家がありません。お隣にやっかいになっているなら安心なのです。

ガーニー君は、その後本当に行方不明になってしまいました。そこらじゅう探し回って見つからないので、もしやと思い保健所にも何度も問い合わせたのですが、無駄でした。もしかすると今でもどこかに元気に暮らしているのでしょうか。救急車と一緒に空に向かって吠えていた姿がせつなく思い出されます。なぜだか犬は空に向かって吠えるのです。

昔々の狼だった頃の山の暮らしを思いだすのでしょうか。

それにしても心配なのはすみれです。

よくお世話になっていたおすし屋さんにも顔を出していないそうです。

なんとか、無事にいてくれるよう、祈るような気持ちです。



Cats

to be continued

東北の仙台の近くに鮎川から渡る網地島という小島がある。昔は仙台藩の罪人が流された島である。昭和初年の話であるが、ここでは不思議なことに犬を飼っている家は一軒もない。犬が島に上陸するとたいまち海が荒れると信じられている。というのも、ここ網地島では猫を恐れることはなはだしく、猫と仲の悪い犬を島にあげると、猫の機嫌をそこなうことがはっきりしているからだ。網地島では、猫が化けて人を騙したという話が数多く残っている。荒海の中どうしても網地島に渡りたいという紳士が来て、やっつとことで漁師が二人がかりで船を漕いで送り届けると、たちまち姿を消し、残された五円紙幣が木の葉にかわっていたとか。山猫紳士の仕業なのである。網地島には浜の小屋に山猫がマグロを盗みに来た話もふんだんにあり、島の人は山猫の存在を信じ、神聖な神として大切にしているそうなの……

身勝手でもやりたい放題の猫達にとって、願ってもない夢の島……がこの世にあるらしい。



TOPICS

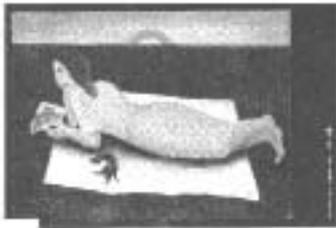
ささめやゆき IN ミルクホール

ささめやゆき氏の作品の紹介です。
 ミルクホールのために5枚の絵を描いて下さっていますが、その絵は裏路地の看板やオリジナルグッズの挿絵でお馴染みかと思います。
 ささめやさんは、別名細谷正之と、2つの顔を持つ個性豊かな作家です。
 昔見た童話のように、時代や国や、時空を超えて、私達に夢の世界を思い出させてくれる愛らしく、ちょっともの悲しくなるようなノスタルジックな絵と文で本や版画を作り上げています。
 これらの本やカード、オリジナル商品は、ミルクホールで販売しています。
 遠方のお客様には、地方発送も承ります。



ささめやゆき と 中澤晶子の

ささめやゆきのガラス絵の世界。「幻燈サーカス」 ¥1800
 幻想的な魅力に溢れています。



ささめやゆき
 オリジナルカード
 「マルスさんと
 マダムマルス」
 9枚組 ¥1200

ささめやゆきの不思議な世界。
 ミルクホールお勧めのカードセット

ささめやゆき
 「マルスさんと
 マダムマルス」
 ¥1400

ささめやゆきによる絵と文
 長年にわたりささめや
 ファンに根強い人気です。



ささめやゆき
 「ほんとうらしく
 うそらしく」
 ¥1500

ささめやゆきによる絵と文
 初期の代表作

ささめやゆきによる装丁本
 「洪沢龍彦初期小説集」
 「よもつひらさか往還」
 倉橋由美子



1. [海辺]
2. [人生は夢にしかすぎない]
3. [ギャルソン]
4. [Broken Morning]
5. [天狗廻状]
6. [黄色い男]
7. [The Cacther in the RYE]
8. [創世記]
9. [Monsieur & Fuelico]

ミルクホール&ささめやゆき オリジナルグッズ



- グラス5種類 5個セット 3500円
- 2個セット 1400円
- LADY's Tシャツ2種類 2500円
- 三角灰皿5種類 1個 850円
- ローションボンブ5種類 2000円
- タンブラー 1個 700円
- マグカップ4種類 1個 750円
- デミカップ4種類 1個 650円

..... ANTIQUES



ミルクホールのアンティークは
毎日の生活の中で使える
やさしいアンティークです
日常の空間の中で昔の時間と
触れ合ってみてください

**伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク**

新入荷情報

♠ 和洋家具

明治・大正時代の和洋家具類

大正時代組立て式箆筒新入荷

大正時代 衣装箆筒他
昭和初期ガラス入り本箱
昭和初期文机
昭和茶棚など

♥ 古民芸

大正時代鏡台
お針箱
無地屏風
格子建具
大正時代古布
火鉢・煙草盆
銭函・糸巻きなど

♣ 古陶磁

伊万里・古伊万里入荷 明治銅版各種入荷

東大寺瓦・百濟瓦など
古伊万里小皿・鉢
大正時代色絵碗・皿入荷
昭和漫画子ども碗
明治銅版そば猪口ほか
伊万里そば猪口・明治鉢
李朝白磁・青磁

◆ アンティーク

大正時代ガラス器
大正時代ランプシェード
ステンドグラス各種
英国製 1920年頃
レプリカ照明器具各種
大正・昭和初期風
ランプシェード金具付



誰がために鐘は鳴る

中世悪党傳

中世における演劇の源流へと
通行をみせる遊行かぶきは、
寺山演劇をも巧みにとりいれて
はなはだ刺激的である。

山口昌男

シアターX

東京有明区西口下町1-3-3 TEL:03-5624-1181

PLAY

遊行舎 + シアターX提携公演

誰がために鐘は鳴る 中世悪党傳

原作/寺山修司
脚本・演出/白石 征
音楽/J・A・シーザー
説教師/政太夫



シアターX TEL 03-5624-1181

2005年6月9日(木) 6時半
10日(金) 6時半
11日(土) 1時半・6時半
12日(日) 2時

料金 ■ 前売=3,000円 当日=3,500円
学生=2,000円

6/9 Wed. - 12 Sun.

寺山修司が遺した「太平記」の
コンセプトを辿って、衝撃の
超大作三部作、ついに完成！
平和への祈りをこめて、
湊川に散った楠木の悲願は、
果たして覇者尊氏の心に
とどくのか！
かつて、鎌倉を舞台に繰り
広げられた勇者達の物語です。
チケットなどお問い合わせは
ミルクホールにて

遊行かぶき



LIVE 6/18 Sat.

pm 7:30

湘南の波の音、風のささやき。
自然を肌で感じ、素直に歌にする。
安らぎと優しさ、心地よい響きが聞こえてくる。
中空をやんわりと浮遊するような感覚で
感じて下さい。

HALF MOONの音楽は愛と平和を歌います。
by
琢磨 仁 (Jin Takuma)
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください